

ゆりかご

第20号
2024年7月号
通信



▲拓桃子ども畑の水やり

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4丁目3-17. 宮城県立こども病院 ボランティアゆりかご 広報委員会

長年の活動に感謝

20年継続&累計時間対象 受賞34名



▲今泉益栄理事長(前列中央左)と呉繁夫院長(同右)を囲み、記念撮影におさまる感謝状受賞者ら参加者

2023年度ボランティア活動感謝状贈呈式が、1月29日職員ラウンジで開催された。34名参加。活動20年受賞の笠松富美子さんは「病院らしくない病院が大好き。今後も続けたい」と謝意を示した。その後、呉繁夫院長が「宮城県立こども病院とボランティア」と題し、特別記念講演をおこなった。

20年継続 (14名)	活動時間表彰 (20名)
石田和子 田川順子 大沢美貴子 武山郁子 笠松富美子 永澤さかえ 佐藤香 中田恵子 佐藤敏子 長谷川啓子 高瀬和子 溝江登志子 高田登志子 森恵美子 (敬称略)	2000時間 石田和子 高瀬和子 佐々木英子 前田純子 1500時間 田中悦子 大瀧ツネヨ 佐藤洋子 門脇幸子 柳越 1000時間 岩崎裕子 櫻井光雄 徳永美矢子 500時間 正路節子 遠藤千草 鈴木裕子 今野慶子 溝江登志子 鎌田なほ 佐藤尚美 伊藤かほる

「ちょっとずつ前へ」 つなぐ

ボランティアコーディネーター 大町 千鶴



新型コロナウイルス感染症5類移行から1年、こども病院にも日常が戻ってきました。プレイガーデンでは鯉のぼりが気持ちよさそうに泳ぎ、桜の木の下では幼児さん達がお花見をしていました。保護者の方と一緒に遠足の大型バスに手を振ってお見送りしながら、喜びが込み上げてきました。また病棟でもオンラインではない、生演奏のコンサートを聞けるようになりました。

感染対策も徐々に緩和され、ボランティアハウスではマスクの着用が不要になりました。病棟内活動はまだできませんが、今年度は外部講師による研修会や「ボランティアと病院職員の意見交換会」も開催します。

昨年度はこども病院開院20周年を記念して、ボランティア活動20年継続者14名への感謝状贈呈式が行われました。今年度は6月より7名の新規登録者を迎え、総勢179名のボランティアさんにはできるだけ長く、楽しく活動していただきたいと思います。

これからもどうぞよろしく願いいたします。

事前研修&交付式 5月8日愛子ホール



ボランティア事前研修と登録証交付式開催。研修では呉繁夫院長、感染管理室森谷恵子さん、保育士土屋昭子さん、臨床心理士佐藤あやさん、虻川大樹副院長が、それぞれ講師を務めました。新人7名に登録証が交付され、ゆりかご会員は179名体制に。先輩会員を含め32名が参加。

バザー収支報告 20周年ボランティア祭

バザー品提供と購入ご協力有難うございました。

バザー売上金	収入	113,200
こども病院へ寄付	支出1	30,000
MCハウスへ寄付	支出2	20,000
記念講演接待費	支出3	4,974
Tシャツ制作費	支出4	17,500
Tシャツ助成金	支出5	19,726
雑費その他	支出6	21,000

収支は(表)のとおりです。ご確認ください。

20周年記念製作のTシャツを着用し活動に臨むメンバー▶



”開店”

たくさんの寄付、物品提供をいただき作業室に移り再開しました。5月からボランティアハウス内はマスク無しでOKです。ゆっくりお茶が飲める環境になりました。皆さん、どうぞご利用ください。





外部ボランティアの方の活動をご紹介します



「ときめき光の草原」 富士古河 E&C (株) 薄井輝雄さん

開院前の施設見学を訪れ、イルミネーション飾り付けを提案しました。



アニメ「風の谷のナウシカ」より、ナウシカが金色に輝く草原の中で、心身ともにいやされていく姿を、こども病院の子供達に重ね、ご家族とも、心の願いが届くように「ときめき光の草原」と名付けました。



プレイガーデンに光を灯して20年、皆さまの思い出になれば幸いです。



▲こいのぼり、ポールともに薄井さん設置

緑のボランティア

活動紹介

たくさんのラベンダーのなかに、今年もグリーンさんの作業する姿を見かける季節になりました。

来院される方々を癒してくれる、三日月花壇の草花たち。皆さん楽しみにされている事でしょう。



ハウスの入り口は、とても良い香りが出迎えてくれます。暑いなかの作業、ありがとうございます。



「発達が気になる子どもの理解と支援」

外部講師講演会



●日時：7月11日(木) 14:00-15:30

●場所：こども病院 愛子ホール

●講師：富澤 弥生様 東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科教授



広報室 神山陽平さん

子どもたちと“あなた”をつなぐ



News Letter エール

5.31発行 | 2024年春 - 創刊号 -

病院の魅力を積極発信 「広報室」新設

今年度から、当院のブランド力向上を目的に「広報室」が新設されました。ホームページやSNSなど、これまでの情報発信を充実させるとともに、新たな取組にも積極的にチャレンジし、当院の魅力を発信していきます。

魅力は数多くありますが、その一つが皆さまの精力的なボランティア活動であることは言うまでもありません。

日々、子どもたちやご家族を笑顔にしている皆さまの姿を、より多くの方にお届けできるよう頑張ります！

連絡方法 電子メールに



▶会員への連絡手段が、7月から電子メールに切り替わりました。迅速に漏れなく簡便な情報共有化が狙いです。▶一斉通知の他、活動部門ごとの伝達も開始します。▶ハウス内にアナログ版お知らせボードを設置、情報の可視化も図ります。▶緑のメンバー及びEメールがNGのかた向けには、従来どおり電話対応致します。

お知らせボード

- 全会員への通知
- 部門ごとの伝達
- ヘルプ&ウイッシュ

VC：ボランティアコーディネーター

大町 VC

運営部会委員 青沼孝子(案内) 高橋賢司(案内) 山崎美幸(プレイ)

▲24年度の運営部会は6月25日と来年2月25日の開催です

行事予定

7月11日	外部講師の講演会①	2025年 2月25日	第2回 ボランティア運営部会
8月9日	夏祭り	3月14日	ボランティア感謝状贈呈式
10月25日	ボランティアと職員との意見交換会	開催予定	■他施設見学会 ■中間振り返り ■外部講師の講演会②
11月13日	芸術祭(～15日)	開催日時・場所調整中	■ドナルド・マクドナルド・ハウスせんだい見学
12月	クリスマス会		

編集後記

▶こども病院ニュースレターが「YELL(エール)」へ刷新されました。広報委員会も時代の変化に対応し、ゆりかご通信発行の他にも何か出来る事はないか話し合いました▶結果、他部門の活動状況や課題等について、意外と知らない事に気付きます▶お知らせボードを設置活用し、会員の相互理解を深め、ボランティアコーディネーター発信情報の広報を始めました！▶皆さまと助け合いながら、活動を深めたいものです。

